

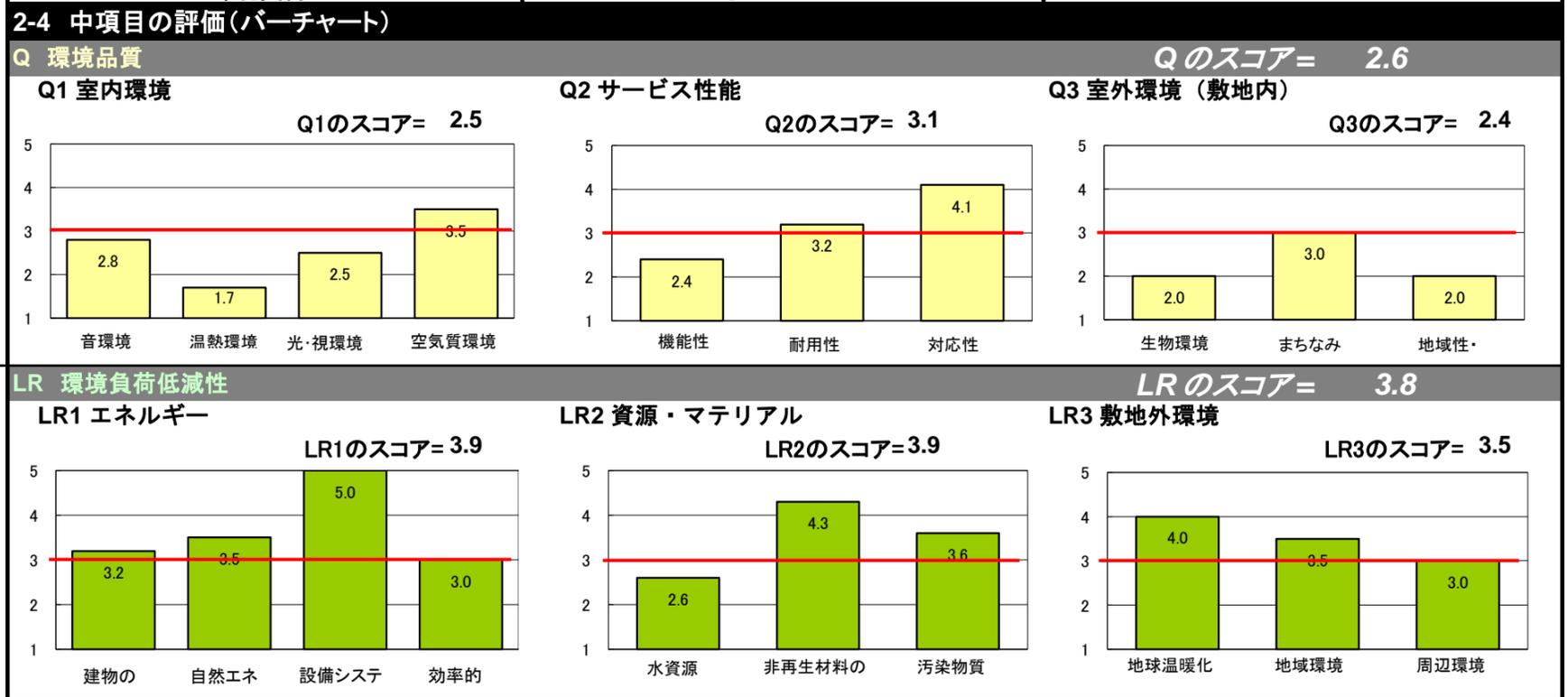
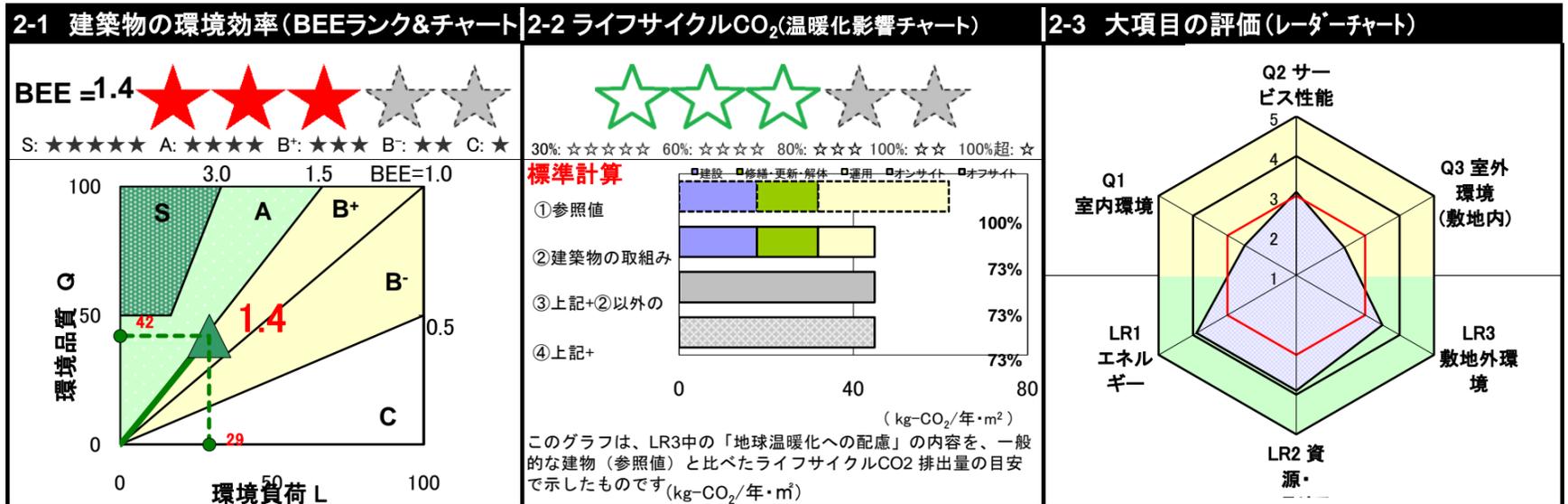
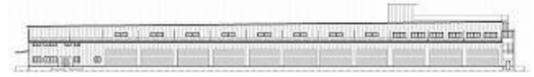
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの経過措置で使用できます。

CASBEE[®] 広島 (2010年ver. 1.8)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2013年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)麒麟倉庫株式会社中野営業	階数	地上 2F
建設地	広島市安芸区中野東1丁目7600-1	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	47 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,600 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2014年7月7日
敷地面積	15,786 m ²	作成者	今西良一
建築面積	10,820 m ²	確認日	2014年7月11日
延床面積	12,839 m ²	確認者	(有)シンク・タンク



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.5

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.0	スコア = 2.3	スコア = 3.1
設計の計画上特段に配慮した事項 事務所2階天井及び1階床下に断熱材を使用し、負荷の低減に配慮している。/トップライトを採用し、照明負荷の低減を図っている。/LED照明、高効率エアコンを採用している。/建物で消費される各種エネルギー消費量を年間にわたって把握している。/井水を中水として使用し、水資源の保護を図っている。分別が容易な施工方法やユニット部材の採用により、資源の大量消費を防ぐようにしている。/ライフサイクルCO ₂ を削減し、地球温暖化防止を図っている。	設計の計画上特段に配慮した事項 緩衝用緑地を設け、敷地内の緑化を図っている。敷地周囲をネットフェンスで囲み、防犯に配慮している。/適正量の駐車(駐輪)場を設け、周辺の交通負荷に配慮している。	設計の計画上特段に配慮した事項 外壁材は、長寿命のものを採用する。また、空調・給排水配管にも耐用年数のながい材料を採用する。/将来の設備更新に対し、構造部材を痛めずに対応できるように配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される